

平成 26 年度 公益財団法人富山県体育協会事業報告

本県のスポーツの普及・振興や競技力向上の推進母体として、加盟団体及び関係機関と連携し、次の諸事業を展開した。

I 公益目的事業

1. 法人運営について

(1) 諸会議等の開催

事業の適時適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名		回数	期 日
評議員会		1回	平成 26 年 5 月 30 日 (金)
理事会		1回	平成 26 年 5 月 14 日 (水)
		2回	平成 26 年 5 月 30 日 (金)
		3回	平成 26 年 11 月 12 日 (水)
		4回	平成 27 年 3 月 20 日 (金)
専 門 委 員 会	総務委員会	1回	平成 26 年 7 月 10 日 (木) 決議の省略の方法による書面審議
		2回	平成 26 年 11 月 12 日 (水)
	普及委員会	1回	平成 26 年 7 月 10 日 (木) 決議の省略の方法による書面審議
		2回	平成 26 年 11 月 19 日 (水)
	強化委員会	1回	平成 26 年 4 月 11 日 (金)
		2回	平成 26 年 7 月 10 日 (木) 決議の省略の方法による書面審議
		3回	平成 26 年 8 月 7 日 (木)
		4回	平成 26 年 12 月 24 日 (水)
	スポーツ医・科学委員会	1回	平成 26 年 7 月 10 日 (木) 決議の省略の方法による書面審議
		2回	平成 27 年 3 月 23 日 (月)

(2) 各種スポーツ関係団体の功労者及び優秀選手等の表彰

永年にわたり本県のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著と認められたものや本県のスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体及び個人を表彰した。

特別表彰	個人	16名	団体	3団体
国体表彰	個人	20名	団体	8団体
感謝状	個人	15名		
計	個人	51名	団体	11団体

(3) 競技団体への経理指導

競技団体への経理について、より適切に事務処理を行うため、適宜顧問税理士による経理指導を行った。特に、富山県スケート連盟ほか8団体については、平成26年12月10日から12月18日、税理士等により会計諸帳簿（現金出納簿や領収書等）検査などの個別指導を実施した。

2. スポーツ普及振興事業

県民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、健康レベル・体力レベルに応じた事業を展開した。各事業の実施については、専門性を有する理事等による専門委員会及び特別委員会を構成し、意見等を反映しながら、各分野の資格を有する当協会の職員が中心となって各事業を企画・立案し、関係団体と連携を図りながら事業を行った。なお、指導者のスポーツ指導における暴力の根絶に向け、本協会が実施する各種研修会等あらゆる機会を通して、周知徹底を図った。

(1) 県民のスポーツ振興及び広報啓発事業

① スポーツに関する広報啓発事業

各種イベントや行事予定など、スポーツに関する情報を広く県民に周知するために、次の広報誌等を作成するとともに、だれでも必要な情報等を簡単に検索できるよう、親しみやすいホームページの充実を図った。

ア. 広報誌の発行

名 称	発行部数	配布先	備 考	発行元
体協 TOYAMA	2,330部/回	加盟団体、市町村教委、アスリート卒業生ほか	年 1回発行	県体育協会
スポーツパレス便り	2,500部/回	市町村関係団体、県立学校ほか	年 11回発行	県総合体育センター
ジムワールド	3,000部/回	呉西地区県立学校、近隣企業ほか	年 12回発行	県西部体育センター
HEALTH SWIM in TAKAOKA	2,000部/回	県立学校、近隣企業ほか	年 4回発行	県高岡総合プール
スポーツリーダーとやま	2,000部/回	公認スポーツ指導者、加盟団体、市町村教委ほか	年 1回発行	県公認スポーツ指導者協議会

イ. インターネットを利用した情報発信

各種スポーツの情報ネットワークの中核としての機能化の充実を図った。

(ア) 本会HP上での各種スポーツ情報の発信

(イ) 総合型地域スポーツクラブやスポーツ指導者パスネットとやまの情報発信

(ウ) メールを利用したスポーツに関する情報（JISSや日本体育協会等）の発信

(エ) 上記(ア)～(ウ)と、スポーツ情報ネットワーク《県委託事業：県総合体育センター》を活用し、本県の各種スポーツ情報の充実を図った。

② 初級スポーツ講習会助成事業

地域住民を対象とした初級スポーツ講習会（教室）を開催し、スポーツの日常化を図るため、関係団体へ助成した。

実施市町村	実施コース	参加者
砺波市 ほか1市	陸上競技教室 ほか2教室	182名

③ 生涯スポーツ推進事業

県民が生涯にわたり、明るく豊かで、活力ある生活を営むために、それぞれの興味、関心、適性等に応じてスポーツを生活の中に位置づけ、主体的にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくりの推進を図った。

ア. 事業内容

(ア) 巡回指導 22回

(イ) 研修会の開催

期 日	内 容	参加者数
平成26年7月8日(火)ほか	地域スポーツクラブスキルアップ研修会 (OJT) ほか1講座	17名
平成26年7月12日(土)ほか	地域スポーツクラブスキルアップ研修会 (座学) ほか2講座	53名
平成26年9月27日(土)ほか	地域スポーツクラブスキルアップ研修会 (実技) ほか2講座	65名

(ウ) 「スポーツ指導者パスネットとやま」PRポスターを作成し、総合型クラブ、市町村教委・体協へ配布した。

(2) 県民体育大会開催事業

広く県下にスポーツを普及・振興し、県民の健康と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の創造に寄与するため、次のとおり開催した。

① 第67回富山県民体育大会（夏季競技）

季	競 技	期日（中心会期）	場 所	参加者数
夏季	陸上競技 ほか41競技	平成26年7月26日(土) ～7月28日(月)	富山市 ほか9市3町	24,921名

大会成績 (二部郡市対抗)	一般	1位	富山市	2位	高岡市	3位	黒部市
	中学	1位	富山市	2位	高岡市	3位	砺波市

② 第68回富山県民体育大会（冬季競技）

季	競 技	期 日	場 所	参加者数
冬季	スケート	(スピード) 平成26年12月13日(土)	長野県茅野市運動 公園国際スケートセンター	28名

		(フィギュア) 平成26年12月27日(土)	富山スケートセンター	
	アイスホッケー	平成26年10月18日(土) ～10月26日(日)	富山スケートセンター	141名
	スキー	(クロスカン트리) 平成27年1月16日(金) ～1月18日(日)	たいらクロスカントリコース	598名
		(アルペン) 平成27年1月16日(金) ～1月18日(日)	あわすのスキー場	
		(フリースタイル) 平成27年3月1日(日)	立山山麓スキー場極楽坂 エリア	
		(スノーボード) 平成27年2月21日(土) 3月7日(土)	夢の平スキー場 IOXアローザスキー場	
合 計				767名

(3) スポーツ指導者の養成

① スポーツ指導員養成講習会開催事業

県民のスポーツニーズが多様化する中で、専門性をもった指導員の養成が望まれているところであり、(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度の資格取得講習会を開催し、資格保持者の資質向上を図るため、次の研修会を開催した。

ア. 日本体育協会公認指導者養成講習会

資格名	科目	競技名	会場	参加者数
指導員	専門科目	バレーボール	県総合体育センター	19名
上級指導員	共通科目	水泳	県総合体育センター	19名

イ. 富山県公認スポーツ指導者研修会

期 日	内 容	会 場	参加者数
平成26年11月23日(日)	「理念を持つとスポーツ指導が変わる」 「スポーツ現場で発生する障害について」	高周波文化 ホール	304名

(4) スポーツ少年団育成事業

日本スポーツ少年団が掲げる「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」、「スポーツを通して、青少年のからだところを育てる」という理念に基づき、本会が設置する富山県スポーツ少年団において、地域社会全体で子どもたちを育て、将来にわたり健全な生活を送れるよう、各種事業を展開した。

① 組織の充実

ア. 組織の整備強化

(7) スポーツ少年団指導者顕彰事業

期 日	会 場	受賞者数
平成 26 年 11 月 30 日 (日)	射水市ヨシダ大島体育館	1 市 16 名

イ. 活動の充実

(7) 富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

期 日	実施競技	会場	参加者数
平成 26 年 6 月 28 日 (土) ~ 平成 26 年 7 月 6 日 (日)	軟式野球競技 ほか 11 競技	県総合体育センター ほか 11 会場	2,908 名

(イ) 地域交流促進事業

期 日	実施スポーツ少年団	開催地	参加者数
平成 26 年 7 月 26 日 (土) ~ 平成 26 年 12 月 28 日 (日)	富山市 射水市 魚津市 氷見市 南砺市	富山市 長野県千曲市 魚津市 氷見市 香川県多度津町	869 名

(ウ) 母集団育成事業

期日	実施スポーツ少年団	参加者数
平成 26 年 8 月 9 日 (土) ~ 平成 27 年 3 月 8 日 (日)	高岡市・氷見市・立山町	212 名

② 指導体制の整備

ア. 各種講習会・研修会

(7) 第 19 回スポーツ少年団指導者全国研究大会

期 日	開催地	受講者数
平成 26 年 6 月 22 日 (日)	東京都	2 名

(イ) 北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

期 日	開催地	受講者数
平成 26 年 11 月 29 日 (土) ~11 月 30 日 (日)	長野県	1 名

(ウ) 富山県スポーツ少年団指導者研修会

期 日	開催場所	受講者数
平成 26 年 11 月 30 日 (日)	射水市ヨシダ大島体育館	58 名
講師・内容	平野 祐司 (一社) 日本トップリーグ連携機構事務局長 座学：「ジュニア期のスポーツの考え方」 実技：「ボールであそぼう！」プログラム	

イ. 日本スポーツ少年団認定員養成講習会

期 日	開催場所	受講者数
平成 26 年 12 月 6 日 (土) ～12 月 7 日 (日)	富山大学 高岡キャンパス	122 名
平成 26 年 12 月 13 日 (土) ～12 月 14 日 (日)	富山県総合運動公園	150 名

③ 交流活動の推進

ア. 国際交流の推進

第 41 回日独スポーツ少年団同時交流		
	派遣事業	受入事業
期 日	平成 26 年 8 月 1 日～8 月 18 日	平成 26 年 7 月 29 日～8 月 2 日
会場地	ドイツ連邦共和国 南バーデン地方	上市町
人 数	1 名	13 名 (通訳 1 名含む)

イ. 全国的・地域的交流の推進

(ア) 全国交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
平成 26 年 8 月 2 日 (土) ～ 平成 27 年 3 月 30 日 (月)	剣道交流会 ほか 2 競技 1 交流会	埼玉県 ほか 3 県	103 名

(イ) 北信越ブロック交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
平成 26 年 7 月 20 日 (日) ～ 平成 26 年 11 月 9 日 (日)	ミニバスケットボール競技 ほか 4 競技 1 交流会	富山県 ほか 2 県	130 名

④ 富山県スポーツ少年団 50 周年記念事業の開催

期 日	開催場所	参加者数
平成 27 年 2 月 7 日 (土)	ゴルフアートとやま	304 名
講演会	講師	富山第一高校サッカー部 監督 大塚 一朗 氏
	内容	「日本一のキセキ」～子供たちに夢を持たせる指導方法～
式典	表彰：50 年表彰 4 団、30 年表彰 183 団	
祝賀会	オープニング：「常願寺あばれ太鼓」利田組	

3. スポーツ強化推進事業

国民体育大会や全国大会等で優秀な成績を収めることは、県民に大きな夢と感動を与え、「元気とやま」の創造に資するものである。このことから、国民体育大会をはじめ、全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指し、関係団体と連携を図りながら、合宿・遠征事業をはじめ各種強化事業を実施し競技力向上に努めた。

(1) 県民の競技力向上の推進

① 国民体育大会等開催事業

ア. 第35回北信越国民体育大会

国民体育大会の主旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的として開催された。

(ア) 大会概要

会 期	早期開催	平成26年5月10日(土)～8月17日(日)	
	中心会期	平成26年8月22日(金)～24日(日)	
	後期開催	平成26年8月29日(金)～31日(日)	
会場地	石川県下7市・2町 富山県1市・福井県1町		
実施競技	カヌー競技	ほか31競技	
参加人数	選手・監督	3,355名	
	本部・顧問	89名	計3,444名

(イ) 大会成績等

富山県選手団 田中 一郎 団長 ほか697名
 第69回国民体育大会本大会ブロック代表数 55代表獲得

イ. 国民体育大会

第69回大会の本大会は長崎県で開催され、男女総合成績(天皇杯)は33位であった。また、第70回冬季大会スピードスケート競技は群馬県・渋川市で、スキー競技は群馬県・片品村で開催され、冬季大会終了時点で、男女総合成績は23位である。

(ア) 大会概要

回	季		期 日	場 所 (参加者数)	成 績
69	本大会	早期開催	平成26年9月7日(日) ～9月14日(日) (水泳競技ほか1競技)	長崎県 (454名)	入賞数※ 61 優勝 ・ウエイトリフティング競技 ・レスリング競技
		中心会期	平成26年10月12日(日) ～10月22日(水) (陸上競技ほか38競技)		

70	冬季大会	スケート アイスホッケー	平成 27 年 1 月 28 日 (水) ～ 2 月 1 日 (日)	群馬県 (5 名)	入賞数※ 7 優勝 ・ スキー競技
		スキー	平成 27 年 2 月 20 日 (金) ～ 2 月 23 日 (月)	群馬県 (65 名)	

※競技別総合成績を含む

② 競技力向上事業

ア. 国体へ向けた選手強化

(ア) 合宿・遠征事業

強化指定選手等の強化を図るため、県内合宿・県外遠征・県外優秀チーム招へいを計画的に実施した。

(イ) 強化指定事業

選手指定：少年種別 38 競技、675 名 成年種別 40 競技 525 名 計 1,200 名
 スタッフ指定：40 競技総監督 28 名 各種別監督 101 名 コーチ 74 名 計 203 名

(ウ) アドバイザー・トレーナー招へい事業

19 競技に 19 名のアドバイザー、15 競技に 17 名のトレーナーを招へいし、国体期間中及び合宿・遠征等で指導を受け、県内指導者の資質の向上と本県選手の競技力向上を図った。

(エ) 選手強化対策補助事業

国体での上位入賞を目指し、競技団体ヒアリング等を通じて各競技団体の現状の把握に努め、効率よく強化事業が展開されるよう競技団体との連携を密にした。また、競技団体強化担当者が、各種全国大会等での競技力調査を実施し、本県の戦力分析や優秀選手の発掘に努めた。

イ. 将来に向けた優秀選手の育成

(ア) 元気とやまスポーツ道場開催事業

中学校や高等学校の有望な逸材を発掘し、県内の拠点スポーツ施設において長期的な展望のもとに育成・強化を図った。

内 容	競技数	回 数	参加者
練習会、講習会	スキー競技 ほか 17 競技	621 回	782 名

(イ) 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業

全国大会で優勝等の指導経験が豊かなスポーツ指導者の中・高等学校へ派遣し、部活動顧問の指導力及び部活動運営を支援することにより、本県スポーツの競技力向上と運動部活動の一層の充実を図った。

コーチ氏名	指導部活動	派遣校	指導回数
石川 春樹	バレーボール	富山第一高等学校 ほか23校	930回
橘川 謙三	柔道		
坂巻 龍雄	ボート		
飛田 昌広	ホッケー		
金子 龍一	陸上競技		
山中 茂	スキー		

③ 競技スポーツ振興事業

小学生、中学生を対象に、スポーツ教室、記録会及び練習会を実施し、競技スポーツに対する興味・関心を高めることにより、競技スポーツ人口の拡大を図った。

内容	競技数	回数	参加者数
記録・練習会	スケート競技 ほか32競技	70回	15,396名
教室	スケート競技 ほか19競技	25回	8,214名

④ 未来のアスリート発掘事業

スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材育成のサポートを行った。

ア. 9期生（平成26年1月指定）66名

(ア) 育成プログラムの実施

実施回数	内容	会場
5回	知的能力育成プログラム 「メンタルトレーニング①～⑤」 奈良教育大学教授 岡澤 祥訓	富山県総合体育センター 会議室 大・中アリーナ プール
2回	「スポーツ栄養講座②, ③」 西能病院 管理栄養士 舘川美貴子	
3回	「コンディショニング①, ②, ③」 富山県総合体育センター 山地 延佳	
9回	身体能力育成プログラム 「コーディネーショントレーニング④～⑫」 帝京平成大学教授 望月 明人	
1回	スポーツ講演会 「オリンピックを夢見て」 (一財)全日本カヌー協会理事 中野(北本) 忍	
2回	体力測定	

(イ) 視察研修

- ・期 日 平成27年3月1日(日)
- ・場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター

イ. 10期生（平成27年1月指定）66名

(ア) 育成プログラムの実施

実施回数	内 容	会 場
1回	身体能力育成プログラム 「コーディネーショントレーニング①」 (一社) コーチングバリュー協会 東根 明人	富山県総合体育 センター 会議室 大アリーナ
2回	身体能力育成プログラム 「コンディショニング①,②」 富山県総合体育センター 山地 延佳	
1回	「スポーツ栄養講座①」 西能みなみ病院 管理栄養士 舘川美貴子	
1回	「スポーツ障害講座」 糸魚川総合病院 山上 亨	
1回	体力測定	

ウ. 奨励賞の授与

1期生から8期生の修了生の中で、各種スポーツ大会で活躍し、その功績が顕著と認められた2名に「奨励賞」を授与した。

エ. 修了生サポートプログラム

体力測定 2回 メンタルトレーニング 2回

⑤ 全国的大会等開催助成事業

全国的・国際的大会や日本リーグ等レベルの高い大会への開催運営費を補助した。

実施期間	平成26年4月～平成27年3月	
実施競技	全国的・国際的大会	第37回NHK杯全日本選抜カヌースラローム大会 ほか11大会

⑥ スポーツ医・科学研修会等開催事業

ア. アンチ・ドーピング教育・啓発

国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育並びに啓発活動の実施を通して薬物乱用や誤用の認識を高めるため、指導者や強化・普及担当者を対象とした講習会を開催し、健全なスポーツ活動を推進した。

期 日	対象者	講師	実施場所	参加者数
平成26年4月1日(火) ～平成27年2月28日(土)	テニス競技 ほか3競技 平成26年度富山県体育 協会強化指定選手等	高岡市民病院 前田 明夫 ほか	岩瀬スポーツ 公園 ほか	38名
内 容				
・ドーピング防止研修会 ・健康診断及びドーピング意識調査				

イ. 問診票による健康診断

県体育協会が指定する強化指定選手及び国民体育大会選手に対し、問診票による健康状態調査を実施した。

⑦ TOYAMA アスリートマルチサポート事業

本県競技力の一層の向上を目指し、各種強化事業と併せ、選手の発育・発達段階に応じた適切で、より効果的な医科学サポートを実施した。

とりわけ、2020年に開催される東京オリンピックを見据え、監督はじめコーチ・スポーツドクター・トレーナー等が連携を図りながら、個々の選手の体力測定結果等に基づくスポーツ医科学サポートを積極的に展開し、全国や世界の檜舞台で活躍できるアスリートの育成に取り組んだ。

ア. 委員会等の開催

委員会名	回数	開催月日
アスリートマルチサポート委員会	2回	平成26年5月15日(木)
		平成27年3月9日(月)
アスリートマルチサポートスタッフミーティング	3回	平成26年6月28日(土)
		平成26年8月30日(土)
		平成26年10月25日(土)

イ. サポート内容

カテゴリー毎にサポート選手の指定(17競技20種目 計796名)をし、メディカルチェック(問診、血液検査、スポーツ障害診断)や体力測定、トレーニング指導、食事調査、スポーツメンタルサポート、大会や強化合宿へのスタッフ派遣などを実施し、要望に応じたサポートを行った。

また、大学・関係機関(国立スポーツ科学センター(JISS)やナショナルトレーニングセンター(NTC))と連携し、スポーツ医・科学調査・研究を行った。

さらに、報告書『HOW TO WIN』や情報誌『スポーツ医・科学的トレーニング情報』を発行するとともに、T-netでのスポーツ医・科学的情報の配信を行った。

⑧ 海外派遣選手激励事業

スポーツをする選手たちに夢と希望をあたえるとともに、スポーツ人口の拡大に繋げることを目的に、国際大会へ日本を代表として出場する選手・監督に激励費を渡した。

国際大会	助成大会	第17回アジア競技大会 ほか9大会
	派遣人数	延べ 21名
	派遣先	韓国 ほか9ヶ国

⑨ スポーツ交流事業

スポーツを通じて、本県と他県又は他国との親善と友好をより一層深めるとともに、交流を通じて本県のスポーツ振興を図るため、平成 26 年 9 月 27 日から 30 日まで韓国体育大学校へ県体協職員を派遣した。

4. スポーツ施設を活用した各種事業と効率的な管理運営

県民が安全かつ快適にスポーツができるよう県総合体育センターをはじめとするスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興を図るとともに、健康・体力・生きがいに寄与するため、次の各種事業を実施した。

(1) スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営

① スポーツ施設管理運営事業

施設管理業務とスポーツ振興のソフト事業を一体的に推進するとともに、効果的かつ効率的なサービスの提供に努めた。また、スポーツ人口の拡充を図るため、利用者のニーズに合わせた管理運営に努めた。

ア. 県営体育施設

施設名	利用人数(人)	利用料金収入額(円)
県総合体育センター	274,016	47,228,171
県西部体育センター	155,405	20,630,811
県高岡総合プール	89,337	18,032,041
県営富山弓道場	6,447	1,081,251
県漕艇場	18,377	995,930
県上市カヌー競技場	2,529	218,240

イ. 県体協体育施設

施設名	利用人数(人)	使用料収入額(円)
アオイスportsハウス	10,058	1,267,440
山野Sportsセンター	7,105	6,319,340
屋内相撲練習場	1,950	182,960

(2) 各種スポーツ教室開催事業

スポーツを始めるきっかけと楽しむことができる場を広く提供するとともに、それらによって作られた自主グループ活動の支援を行うために、次の各種教室を展開した。

スポーツ教室開催事業の実施状況

施設名	教室	受講人数
県総合体育センター	元気 TOYAMA スポーツ・文化はつらつ塾	39
県西部体育センター	トレーニング入門教室 ほか6教室	986
県高岡総合プール	初級水泳 ほか30教室	856
県営富山弓道場	弓道	13
県漕艇場	ボート (小学生・一般)	29
県上市カヌー競技場	カヌー	2

II 収益目的事業

本会が管理運営する県総合体育センターほか5施設に自動販売機を設置し、飲料等を提供した。

また、本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業として、日頃スポーツに親しみのない県民がスポーツ施設を知っていただくことで、今後のスポーツ活動に拍車をかけるとともに、個々の体力に応じてスポーツに親しむ契機になることを期待し、管理運営するスポーツ施設の会議室等を公益目的事業以外で貸与した。